



平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。

(ローマの信徒への手紙14章19節)

Let us pursue the things which make for peace
and the things by which one may edify another. (Romans 14:19)

“Strive to discipline yourself and
be a helpful, caring person.”

Kyugaku Journal



天に宝を積む

富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。

－マタイによる福音書6章20節－

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



近代以降、この400～500年の間に、私たち人類は合理的に物事を判断する力を身につけてきました。そして、その合理的判断に基づいて人や物を「評価する」ということを普通に行うようになりました。なんにしても「よい評価を得る」ことは、その後の成功にもつながりますからとても大切なことで、学校も社会から良い評価を得るために努力します。

しかし、その反面、他の人が下した評価に振り回されるということも起こります。良い評価を得れば有頂天になり、悪い評価だと簡単に絶望したりもします。また、人生が他人から良い評価を得ようとするだけで終わることもよくあります。

イエスは、そのような評価とは無関係に、ただひたすら黙々と自分の業を行っていく姿こそ、自分の人生を豊かにしていく道ではないかと教えられました。良く言われても悪く言われても、ひたすら自分の業を行っていく。「天に宝を積む」というのは、そういう人間の姿を示すものです。そのような人は、他の人の評価に振り回されることなく、傲慢でもなく、卑屈でもなく、自分の人生を生きることができるからです。

九州学院での学びの日々が「天に宝を積む」ような日々であればと思います。努力を天に向かってしていく。そのような在り方を覚えることができればと願います。

九州学院創立110周年震災復興特別募金チャリティーイベント

オール九学による「復興祭」大盛況!

～皆さまのご支援とご協力に感謝申し上げます～



6月18日(月) 熊本県立劇場コンサートホールで「九州学院創立110周年震災復興特別募金チャリティーイベント」～KG style Charity les vol.1「Say Hello」～が開催されました。このイベントは熊本地震で大きな被害を受けた建物の復旧・改築などに充てる特別募金の一環として、創立110周年を迎える2021年までの4年間、毎年1度行うもの

です。この日が初めての開催となりましたが、会場には多くの一般来場者と中高生と関係者が集うなかで盛大に行われました。福田桐特別募金委員会委員長の挨拶の後、第一部が開演。高校書道部による揮毫(大判紙への書)で始まり、みどり幼稚園児による歌とダンス、空手道部、中高合唱部によるコーラス、高校吹奏楽部による壮麗な演奏、中高チアダンス部による元気いっぱいダンス、云々(藤本一喜「高70卒」さんによるヒップホップダンスが披露され、それぞれのステージ発表に大きな拍手が送られていました。

このイベントはすべて手作りにする運営で行われ、司会アシスタントを務めた放送部をはじめ、生徒会や多くの部活動生の協力を得て運営ができました。さらに、このイベントの企画や準備、広告協賛、チケット販売や購入など多岐にわたって同窓会、経済交



現在の九州学院(大江校地空撮)

九州学院創立110周年震災復興特別募金チャリティーイベント収支報告書(単位:円)

【収入の部】		収益(A-B) 1,907,206 [2018年9月30日現在]
広告収入	3,500,000	
チケット売上	918,000	
会場設置募金箱	13,736	
預金利息	5	
収入合計(A)	4,431,741	
【支出の部】		特別募金中間報告 (2018年8月31日現在) 件数 342件 募金額 22,607,152円 ※上記募金額に今イベントの収益は含んでいません(今後繰入れます)。 目標額 1億2千万円 期間 2018年1月~2022年3月 ※引き続きご協力をお願いします。 (募金の詳細は学院HPまで)
会場使用料	388,270	
出演者交通費等	578,000	
音響費・同送料	216,000	
印刷物製作費・印刷料	850,540	
委託費・外注費	440,000	
郵便料・振込手数料	25,602	
その他経費	26,123	
支出合計(B)	2,524,535	

流会、育友会の皆さまをはじめ、大勢の方々のご支援とご協力を賜りました。あらためましてここに厚く御礼を申し上げます。在校生・在園児、教職員、保護者、地域、卒業生が一体となった「オール九学」で行われた、第1回震災復興特別募金チャリティーイベントは大盛況のうちに終えることができました。初めての試み通りでありました。

で行き届かなかった点も多々あることと存じますが、次回開催に向けた皆さまの貴重なご意見と、引き続きのご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。なお、今回のイベントにおける収益は、すべて特別募金に充てられます。収益ならびに8月末時点での募金状況(いづれも概要につきましては、左記の通りであります。

収穫の秋、感謝の思いを胸に

九州学院 院長 阿部 英樹



九州学院は、毎日礼拝を守っています。教職員と生徒が一緒に讃美歌を歌い、聖書のメッセージを聴いて、祈りを合わせることを、これを大切にしています。

朝起きて、命が与えられていることに感謝し、職員朝礼時に、聖書と祈りをもって建学の精神を確認し、愛をもつて生徒に向き合う気持ちで日々新たにできることは、私たちにとって大きな喜びです。キリストの愛の教を基に教育を行う学院であるからこそ、できることです。そのような思いを共有する先達たちと教職員によって、学院は107年にわたって前途有為な若者たちを世に輩出してきまし

た。心をこめて大きな声で讃美歌を歌う生徒が増えています。私が在学中の男子校時代とは比べものにならないほどです。4月には、いつもくしみ深き友なるイエスは」を賛美し、その後毎月異なる讃美歌を歌います。賛美することを通して、学院に属する一体感を味わうだけでなく、生かされている感謝の気持ちとを共有しています。将来、讃美歌の旋律や歌詞が、癒しや励ましになることがきつとあると思います。

秋の収穫時には、アメリカの感謝祭(11月第4木曜日)のことがよく話題になります。週れば、1620年秋、信仰の自由を求めてイギリスからメイフラワー号で渡ってきたピューリタンと呼ばれる移民たちが、翌年、新天地で農作物を収穫できたことを神に感謝しました。彼らは、厳しい寒さのために仲間の半数を失うなど、幾多の艱難辛苦を乗り越えて、与えられた恵みに神への感謝の祈りを捧げたのでした。

今の自分があるのは、九州学院のおかげである」と、後輩たちにエールを送っていただけるのはありがたいことです。人生の荒波に揉まれてきた方々の言葉だけに、本当に勇気づけられます。10月10日の「創立者の精神を覚える会」において、浦田獎氏(S12・佐野日本大学学園理事長・学園長)は、九州学院と出会えた感謝の思いと九学愛を語られました。温かい励ましの言葉は、生徒たちの心に生涯残るに違いありません。

私たちは、それぞれが九州学院と出会いました。後で振り返った時に、偶然に思えた出会いが、「あの出会いがあったからこそ、今の自分がある」と、感謝の思いをもって互いに語り合えることを願っています。

収穫の秋、豊かな恵みの内に生かされていることを感じる季節でもあります。一人一人のお働きの上に、豊かな導きとお恵みをお祈りいたします。

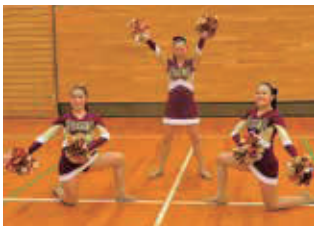
7 月 31 日(火)～8 月 2 日(木)、大阪市の丸善インテックアリーナ大阪で全国中学校・高等学校ダンスドリル選手権大会が行われ、6 月 16 日(土)の九州予選を通過した九州学院中高チアダンス部が出場しました。会場には大勢の観客が来場し、関西九学会からも応援に駆けつけていただきました。

中高ともに全国大会に向けて日々猛練習に励み、全国の舞台でも躍動感のある演技を披露しました。審査の結果、中学校ソングリダー部門スモール編成に出場した九州学院中学校の 3 人が準優勝となり、2019 年 3 月にアメリカ合衆国ダラス市で開催される全米大会への出場推薦をいただきました。

チアダンス部は次年度から高校生のみとなるため、3 人は最後の

ファイナールの舞台は全米(世界)大会！チアダンス部最後の中学生 3 人がダンスドリル選手権全国大会で準優勝

中学生部員です。全米大会(世界大会)はそのファイナールを飾るに相応しい最高の舞台となります。皆さまのご声援をお願いします。



『世の役に立つ善人』

～高校生が西日本豪雨被災地への支援活動～

①生徒会とボランティア部が募金呼びかけ

7 月 18 日(水)・19 日(木)登校時間帯に高校生生徒会役員とボランティア部員が生徒昇降口で募金の呼びかけを行いました。この募金活動は甚大な被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨(西日本豪雨)で被災された方々に、自分たちに今できることを少しでも行いたいという生徒たちの思いから始まったものです。

両日とも早朝より暑さが厳しいなか、登校してくる生徒たちが募金箱を手にした役員と部員たちが絶えず声を出して呼びかけました。募金額は 2 日間で 78,486 円でした。これに学校法人九州学院からの救援金 21,514 円を加えた 100,000 円をキリスト教学校教育同盟を通じて送らせていただきました。皆様のご協力に感謝します。



②野球部 3 年生が広島県坂町でボランティア活動

8 月 9 日(水)・10 日(木)、硬式野球部を引退した 3 年生の元部員 23 人と保護者 6 人が西日本豪雨被災地の一つ広島県安芸郡坂町で救援ボランティア活動を行いました。彼らが現地を訪れたきっかけは保護者の「高校野球は終わったが、今度は人の役に立ってみてはどうか」との呼びかけでした。引退まで猛練習で培った体力には自信があり、その呼びかけにほぼ全員が応えて今回の訪問が実現しました。

前主将の田尻裕昌くんは坂町訪問に際して、「今度は自分たちが少しでも恩返しをする番。その一致した思いで自分たちにできる精一杯のことを皆でさせていただきたい」と意気込みを語りました。甚大な被害状況にあるなかで今回の活動は小さな奉仕であるかもしれませんが、『敬天愛人』と『自分で自分を監督し役に立つ善人となれ』を掲げる学院で育った彼らがさせていただいたこと、そして彼らの熱い思いは、神さまの祝福を受けて坂町の人々に届いたことでしょう。



朝日新聞提供

【高校】最新版学校案内 HPI にて公開中！
(デジタルブック形式)

<http://www.kyugaku.ed.jp/hs/>

(奨励賞)
宇土市民体育館
杉本 優衣(1 年)

第 24 回熊本県高等学校
揮毫大会(9 月 8 日)

福田真由香(3 年)

(銀賞)

「山鹿市民交流センター」

第 44 回熊本県高校独唱
コンクール(8 月 24 日)

銀賞

「熊本県立劇場」

第 62 回熊本県吹奏楽
コンクール(7 月 26 日)

藤本 純音(1 年)

(2 位)「高 1 の部」

「やつしろホール」

第 43 回 IEC 国際大学
校総合英語暗誦大会
(7 月 15 日)

熊本県立劇場

文化部門でも活躍

文化部門でも活躍



祝日本！

高校剣道部
中学剣道部
中学剣道部
自転車競技部
自転車競技部

全国高校総体剣道競技団体戦(2 年ぶり 7 回目)
第 48 回全国中学校剣道大会団体戦(2 年連続 7 回目)
第 48 回全国中学校剣道大会個人戦 鮫島雅貴選手
全国高校総体自転車競技チーム・スプリント
JOC 杯自転車競技(トラック)2 冠 伊藤旭選手



今夏も九州学院中高の部活動生が全国優勝の栄冠に輝きました。8 月 12 日(日)、三重県営サンアリーナで行われた全国高等学校総合体育大会剣道競技男子団体戦で、高校剣道部が 2 年ぶり 7 度目の優勝を成し遂げました。準々決勝では玉竜旗決勝で惜敗した島原高校に 3 対 0 で雪辱を果たすと、その勢いで栄冠獲得へと突き進みました。この結果、高校剣道部は選抜大会との二冠達成となりました。

8 月 22 日(水)、岡山市総合文化体育館で行われた全国中学校剣道大会男子個人戦に出場した鮫島雅貴選手(3 年)が見事優勝しました。さらに 8 月 24 日(金)、同所で行われた男子団体戦でも中学校剣道部が 2 連覇を達成し、同大会通算 7 度目の優勝を成し遂げました。中高ともに全国優勝の快挙を成した剣道部は、次の目標達成に向けて日々練習に励んでおり、さらなる期待が高まっています。

一方、自転車競技部も個人種目で全国の頂点に立ちました。8 月 5 日(日)、伊豆市の日本サイクルスポーツセンターで行われた全国高等学校総合体育大会自転車競技男子チームスプリント決勝で、松本秀之介選手・伊藤旭選手・入江航太選手の九州学院チームが 1 分 3 秒 332 の大会新記録で見事優勝しました。また、伊藤旭選手は 8 月 11 日(土)・12 日(日)に伊豆ベロドロームで行われた JOC ジュニア

オリンピックカップ自転車競技大会(トラック)でも男子ジュニア二冠(ケイリンとスプリントで優勝)を達成し、最優秀選手に贈られる、男子 JOC ジュニアオリンピックカップも授与されました。今夏、高校は体育部 9、文化部 1 の計 10 部が、団体と個人で全国大会に出場しました。互いに切磋琢磨しながら活躍できるのも、皆さまのご支援とご声援のおかげです。厚い感謝を申し上げます。

体育祭大盛況！2 年ぶりに一般公開で実施！

9 月 10 日(月)、雨天により延期となっていた九州学院体育祭が本校グラウンドで行われました。平日開催となりました。2 年ぶりの体育祭となりました。一般公開に、早朝より多くの保護者や卒業生などの皆さまにご来場いただきました。昨年は台風接近で短縮日程での開催、昨年は新 4 号館建築工事の影響で一般公開を行わない校内体育祭として実施したため、晴天下で予定した全プログラムを実施できたのは、3 年ぶりとなりました。

開会式では選手宣誓を有吉健紀高校生生徒会長と岩永真拓中学校生徒会会長が声高らかに行いました。競技は徒競走や技巧走などの個人出場種目から、クラス対抗や団対抗で行われたリレー

種目まで、トラックを生徒たちが駆け抜ける度に大きな歓声が観客席と生徒席から沸き起こっていました。特に学年や男女ごとに行う種目(玉入れ・フォークダンスⅡ中全、綱引きⅡ高 1 男、騎馬戦Ⅱ高 2 男ダンスⅡ高 1・2 女、棒引きⅡ高 3 女、棒倒しⅡ高 3 男)では、一部開始前に楽しいパフォーマン스로盛り上げながらも、いざ対戦が始まると勇壮な真剣勝負が展開されてグラウンドは終始大歓声に包まれました。

また、今回はみどり幼稚園ダンスとクラブ対抗リレーを 3 年ぶりに実施することができました。幼稚園児と高校 3 年生が手を繋いで行う微笑ましいダンスや、各部の名誉をかけた激しいレース展開が

また、保護者の皆さま、地域の皆さまをはじめとする多くの皆さまのご理解とご協力をいただきました。このように充実した体育祭を開催できました。厚く御礼申し上げます。次回もご協力をお願い申し上げます。

種目(玉入れ・フォークダンスⅡ中全、綱引きⅡ高 1 男、騎馬戦Ⅱ高 2 男ダンスⅡ高 1・2 女、棒引きⅡ高 3 女、棒倒しⅡ高 3 男)では、一部開始前に楽しいパフォーマン스로盛り上げながらも、いざ対戦が始まると勇壮な真剣勝負が展開されてグラウンドは終始大歓声に包まれました。

また、保護者の皆さま、地域の皆さまをはじめとする多くの皆さまのご理解とご協力をいただきました。このように充実した体育祭を開催できました。厚く御礼申し上げます。次回もご協力をお願い申し上げます。

種目(玉入れ・フォークダンスⅡ中全、綱引きⅡ高 1 男、騎馬戦Ⅱ高 2 男ダンスⅡ高 1・2 女、棒引きⅡ高 3 女、棒倒しⅡ高 3 男)では、一部開始前に楽しいパフォーマン스로盛り上げながらも、いざ対戦が始まると勇壮な真剣勝負が展開されてグラウンドは終始大歓声に包まれました。

また、保護者の皆さま、地域の皆さまをはじめとする多くの皆さまのご理解とご協力をいただきました。このように充実した体育祭を開催できました。厚く御礼申し上げます。次回もご協力をお願い申し上げます。

九州同窓会だより

大津・山鹿・植木が新スタート

山鹿・植木九学会

8月31日、九学同窓会山鹿・植木支部懇親会(立ち上げ準備会議)が、山鹿の「割烹よこて」に於いて開かれました。会には約20人が参加し新スタートを祝いました。

大津九学会

8月4日(土)夜、長らく活動を休止していた「大津支部九学会」(斉藤周一会長)の総会・懇親会がエアポートホテル熊本において開かれ20名以上が参加、同窓会からも山崎会長らが駆けつけました。同会の再始動を心待ちにしていた先輩方は特に喜ばれ大いに盛り上がりました。9月24日には西川雄一朗氏(S70回)、ヒカル氏(S66回)の保



6月30日(土)午後6時から学士会館(千代田区神田錦町)に於いて東京九学会総会・懇親会(島本誠会長)が開催され、新卒を含む約30名の大学生から90歳に近い大先輩まで、約120名が参加し大いに賑わいました。熊本からも阿部院長、山崎同窓会長など5名の他に「祭九学会」の当番学年(S46回)の役員なども参加し、学校や同窓会の近況などの報告をしました。



護者西川秀貢氏から大津九学会再始動の記念として「会旗」の贈呈式が行われました。

東京九学会

7月14日(土)、ANAクラウンプラザホテル大阪にて関西九学会(原田敬策会長)の総会・懇親会が開かれました。会には新卒4名を含め85歳の大先輩まで約50名が参加、熊本からも院長や同窓会長らが駆けつけ、オープニングではシンガーソングライターの清永雅也氏(S62回)が友情出演をしました。同会は熊本地震などの関係で3年ぶりの開催となり、久しぶりの再会を懐かしみ、近況や学生時代の話などで時間を忘れて談笑する姿が会場のあちこちで見受けられました。

関西九学会

10月4日(木)2学期中間考査終了後、会議室において「奨学生・給費生を励ます会」が開かれました。奨学生・給費生を励ます会が開催され、該当の中生徒58名を含め、同窓会役員・教職員など約80名が出席しました。青山同窓会育英奨学委員長、阿部院長の挨拶の後、会食をしながら

「奨学生・給費生を励ます会」を開催

10月4日(木)2学期中間考査終了後、会議室において「奨学生・給費生を励ます会」が開催され、該当の中生徒58名を含め、同窓会役員・教職員など約80名が出席しました。青山同窓会育英奨学委員長、阿部院長の挨拶の後、会食をしながら

【制度の歴史】1981年、学院創立70周年を機に同窓会の若手が立ち上がり同窓会新制部会を結成。同部会事業の一環として1983年に育英奨学生制度を制定。2014年より

羽ばたく同窓生

インカレトラック女子スプリントで優勝
西島叶子氏(S65回)



8月20日、伊豆ペロドロームで開催された全日本大学対抗選手権自転車競技大会において、西島叶子選手(S65回・鹿屋体育大学)が女子スプリントの種目で見事優勝を果たしました。西島選手は九学時代は女子空手道部に所属して好成績を残しましたが、鹿屋体育大学では自転車競技に転向し猛練習に励み、最終のインカレトラックでの日本一になりました。



プロ三戦目もKO
勝利!
堤聖也氏(S66回)

プロ初打席で見事本塁打
村上宗隆氏(S70回)

9月4日に東京・後楽園ホールで行われたバンナム級トーナメント決勝で、今年3月に

「九州学院ナルドの壺基金」に組み入れ。奨学生のうち特に秀でた者に育英奨学金の支給を行っている。



祭九学会

実行委員会に女子一期生も

熊本に秋の訪れを告げる市民のお祭り「藤崎八幡宮秋季例大祭」が9月16日に行われ、高校OB連合会に属する「祭九学会」も参加しました。今年は70団体中41番目で、総勢250人以上に及ぶ大所帯ながらまとまりのある素晴らしいものでした。昨年の同窓会若手の会が中心になった今年の当番学年S46回(1994年卒)の「祭九学会実行委員会」(日野正人委員長)は共学一期生で、初めて女性も加え春から準備を進め数十回に及ぶ会議を重ねて本番を迎えました。なお、今年は祭九学会の設立40周年にあたり、10月21日に熊本ホテルキャッスルで盛大に祝賀会が開かれました。



プロデビューした堤聖也選手(S66回・ワタナベジム)が稲元純平選手・熊合コサカを3回1分35秒でTKOで破り優勝を果たしました。今回がプロ三戦目で、過去2回の試合はいずれも1ラウンドでKO勝ちという素晴らしい戦績となりました。

ヨネックスの社長は九学OB
林田章樹氏(S28回)



日本人で初めて全米オープンを制した大坂なおみ選手は大人気ですが、彼女が使用するラケットが日本のヨネックスの製品ということで同社も脚光を浴びています。実はヨネックスの林

森崎五段が県アマ棋王に
森崎盛一朗氏(S64回)

9月30日、びぶるす熊日会館「熊日倶楽部」で行われた、第54回県アマ棋王戦(熊日主催)の決勝リーグで、森崎盛一朗五段(S64回)が4連覇中の坪井祐二・五段を決定戦



「九学同窓会だより」
文責・小手川 勲

「九州学院創立110周年震災復興特別募金」有志で「決起集会」を開催

7月3日(火)夜、熊本市中央区のレストラン・スターライトで「九州学院創立110周年震災復興特別募金」の決起集会が行われました。会には常任幹事を中心に約50名が集い氣勢を上げました。



オープニングで熱唱する清永雅也氏

オープニングでは先日の震災復興チャリティーコンサートに出演した清永雅也氏(S62回)が「熊本の桜が三度咲く頃」などの楽曲を披露して会を盛り上げました。山崎恒雄同窓会長(S21回)、福田稠震災復興特別募金委員会委員長(S18回)、長岡立一郎理事長(S17回)の挨拶の後、村上洋也事務室参与(S25回)が活動の現状報告を行いました。小崎義昭同窓会前参与の乾杯の音頭で懇親会に入り、しばし歓談のひと時を楽しみました。終わりに清田優作氏(S51回)が「がんばろう」コールをして全員で校歌を斉唱し、阿部英樹院長の締めの挨拶でお開きとなりました。募金額目標達成に皆様のご協力を宜しくお願い致します。



昨年のドラフト1位でヤクルトに入団した、村上宗隆選手(S

9月4日に東京・後楽園ホールで行われたバンナム級トーナメント決勝で、今年3月に

拉致被害者松木薫氏(S24回)の救出を



松木氏は1972年、京都外大大学院1年生時にスペイン留学中、旅行先のオーストラリアで消息を絶ち、2002年に警察庁に拉致被害者と認定されました。弟の松木信宏氏(S43回)も姉の斎藤文代氏と共に拉致被害者家族会(飯塚繁雄代表)のメンバーとして救出活動が続けていますが未だに解決に至っていません。同窓の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

2018年度および最近5か年の大学進学状況

合格大学（過去5年間） 進路指導部長 谷口 象二郎

【国公立大学】

今年度現役合格21名(東北(理・物理)を含む)、過年度卒合格5名(九州(工)2名を含む)

東京、東京海洋、大阪、東北、九州(7)、筑波(4)、神戸、岡山、山形、三重(2)、京都工芸繊維、山口(3)、熊本(34)、鹿児島(6)、佐賀(2)、長崎(2)、大分(3)、宮崎(3)、琉球、鹿屋体育(4)、福岡教育(5)、九州工業(3)、都留文科、北九州市立(5)、下関市立、鳴門教育、福岡県立、長崎県立(2)、熊本県立(41)、宮崎公立、名桜(3)、以上143名

【私立大学】

今年度一般入試で現役53名合格(明治、上智、立教、法政などを含む)、過年度卒合格15名

早稲田(6)、慶応、明治(24)、上智、津田塾、国際基督教(5)、青山学院(14)、中央(10)、立教(8)、法政(19)、東京女子(9)、明治学院(17)、國學院(11)、駒沢(9)、専修(16)、日本(37)、東洋(27)、東海(21)、帝京(30)、日本体育(27)、関東学院(31)、神奈川(11)、同志社(58)、立命館(10)、京都産業(8)、関西(6)、関西学院(25)、近畿(30)、神戸女学院(5)、九州産業(30)、西南学院(47)、福岡(112)、福岡工業(9)、福岡女学院(19)、久留米(19)、九州ルーテル学院(41)、九州看護福祉(32)、熊本保健科学(51)、崇城(55)、熊本学園(232)、立命館アジア太平洋(17)、ほか、以上1529名

3大学と特別連携

同志社大学（21名の枠）、福岡大学（19名の枠）、熊本学園大学（50名の枠）との高大接続による特別連携入試制度があり、この他にも明治、関西、法政など毎年約160の大学から指定校推薦入試の枠をいただいている。このほか、国際基督教、青山学院、立教、東京女子、明治学院、関西学院、同志社女子、神戸女学院、西南学院など多くのキリスト教主義の大学からも同盟校推薦の枠をいただいている。特に昨年から津田塾大学、今年から中央大学の指定校枠をいただいた。



8月30日(木)午前9時30分より九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにおいて平和礼拝のときをもちました。多くのキリスト教会では8月を特に平和をおぼえる月としており、近年は九州学院でも8月に平和礼拝を開催しています。チャペルに

『平和を造り出す』チャペルで平和礼拝

は約120人の生徒・教職員が集いました。この日は会場準備から後片付けにいたるまで、高校宗教部（敬愛会）と中学校宗教部（白羊会）のメンバーが奉仕にあたり、礼拝の中でも打鐘、アコライト（点火、奏楽、聖書朗読を担当しました。

『高校』新生徒会がスタート！

9月28日(金)、投開票の結果を受けて高校新生徒会役員の認証式が朝礼に引き続いて行われました。新年度の生徒会役員は以下の皆さんです。

会長	濱田康大朗（2年）
副会長	稲津 瑠都（2年）
書記	千原みなる（2年）
書記	岩田 花佳（1年）
書記	津川 凜理香（2年）
会計	石坂 楓（1年）

高校見学会・入試説明会

本校と県立劇場で開催
延べ2千人超の来場者

8月22日(木)午前中、九州学院高校見学会を本校にて、午後からは2019年度入試説明会を熊本県立劇場にてそれぞれ行いました。台風の影響が心配されましたが、見学会には1千5百人、説明会には9百人と多くの来場者がありました。



九州学院高校見学会を本校にて、午後からは2019年度入試説明会を熊本県立劇場にてそれぞれ行いました。台風の影響が心配されましたが、見学会には1千5百人、説明会には9百人と多くの来場者がありました。

説明が行われました。九州学院ウェブサイトに最新版の学校案内を掲載していますのでぜひご覧いただけます。と願っております。



2019年度生徒募集情報

- 奨学生(A・B・C)【入試日:2019年1月23日(水)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）
【特典】
奨学生A…入学時納入金100,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費の負担もない。特に優秀な若干名には九州学院ナルドの壺基金より月額10,000円（寮生は月額20,000円）を授与する。
奨学生B…入学時納入金のうち、入学金の一部と施設設備費の合計50,000円を免除する。
奨学生C…入学時納入金のうち、入学金の一部である20,000円を免除する。
【備考】奨学生A・B・C合格者は、希望すれば優先的に特進コースに入ることができる。
- 専願生【入試日:2019年1月23日(水)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。
- 専願生（特別活動推薦）【入試日:2019年1月23日(水)】
※次の指定14競技の体育活動推薦。男子のみ受験可。
野球・空手道・陸上・水泳・柔道・剣道・卓球・ラグビー・サッカー・ハンドボール・バスケットボール・バドミントン・自転車・ボクシング
※中学時代の競技活動を証明する「スポーツ競技歴調書」を他の提出書類と併せて提出すること。
※野球部は1月実施の入試に合格した者のみ入部可。
【試験教科】国語・数学・英語（リスニング含む）・個人面接
【特典】奨学生の合格点以上を得点した者は、その得点に応じて、奨学生A・B・Cの合格者の資格を認め、それぞれの特典を与える。
【備考】合格者は普通コースの特技クラス所属となる。
- 一般生【入試日:2019年2月14日(木)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語（リスニング含む）



※(高校)海外研修旅行①※
オーストラリア(アデレード&シドニー)
姉妹校インマヌエル・カレッジを訪問
7月29日(日)〜8月10日(金)、九州学院高校とルーテル学院高校との合同研修旅行団がオーストラリアへの訪問を行いました。一行は羽田、シドニー経由で、両校と姉妹校の関係にあるインマヌエル・カレッジがあるアデレード入り。早速この日からのホームステイが始まり、翌日からは3校の生徒合同での授業体験

インマヌエル・カレッジは九州学院高校、ルーテル学院高校と1990年に姉妹校提携を締結。留学生交換や研修団の派遣などを通して交流を続けています。



※(高校)海外研修旅行②※
アメリカ合衆国(ロサンゼルスなど)
LCR(復活ルーテル教会)を初訪問
7月30日(月)〜8月8日(水)、九州学院高校の生徒10人と引率教諭2人の研修旅行団が、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市にある復活ルーテル教会（以下LCR）への初訪問を行いました。昨年7月にLCRユースによる訪問団が九州学院で交流したことを受け、今回の初訪問への準備が両者

で進められ実現したもので、その仲介を大江教会の立野泰博牧師が担われ、今研修にも加わっていただきました。LCRとの交流では多くのプログラムがありました。主なものは、夏休み中の子どもたちが集うバイブル・スクールで、リーダー役の中高生と一緒に学んだり遊んだりするものや、異文化体験としてハワイのフラダンス講習会などがありました。どのプログラムにも生徒たちは笑顔で積極的に参加していました。また、8月5日(日)にはLCRで礼拝のときをもちました。3回行われる礼拝のうち一行は、さまざまな楽器を用いた「モダン礼拝」と「日本語礼拝」の2回に出席しました。1週間の滞在で多くの学びと人間の優しさに触れた生徒たちは、主にある愛の交わりで内面でも豊かな実を結ぶことができました。

2位 **ダイロフ拓磨**(1年)

学友会活動成績

(5月14日～8月31日)

水泳部

第50回西日本年齢別選手権大会 (5月26日～27日)

〈アクアドームくまもと〉

(女子)

▽50m自由形

6位 長森 花楓1年

▽100m平泳ぎ

6位 清崎 莉織1年

▽200m平泳ぎ

4位 清崎 莉織1年

6位 瀬津美咲季1年

▽100mバタフライ

1位 長森 花楓1年

▽200mバタフライ

1位 長森 花楓1年

6位 濱口奈葉香2年

熊本県高校総体

(6月1日～2日)

〈アクアドームくまもと〉

(男子)

▽総合 1位

▽50m自由形

3位 荒木 元太3年

▽100m自由形

4位 荒木 元太3年

▽200m自由形

2位 須藤 颯1年

▽400m自由形

1位 須藤 颯1年

▽1500m自由形

2位 工藤 泰汰1年

3位 松永 大和1年

5位 河津 賢宗1年

▽200m背泳ぎ

5位 北岡 茉紘1年

▽100m平泳ぎ

3位 長森 陸1年

4位 宮脇 大暉3年

▽200m平泳ぎ

1位 長森 陸1年

2位 宮脇 大暉3年

▽100mバタフライ

2位 原田 拓武3年

3位 田代健太郎2年

4位 田代 瑠1年

▽200mバタフライ

1位 原田 拓武3年

2位 田代健太郎2年

3位 米田 瑠1年

▽400m個人メドレー

5位 松永 大和1年

▽400mフリーリレー

2位 須藤 颯1年

荒木 元太3年

田代健太郎2年

山下 慶悟2年

▽800mフリーリレー

2位 須藤 颯1年

荒木 元太3年

田代健太郎2年

田代健太郎2年

▽800mフリーリレー

2位 須藤 颯1年

荒木 元太3年

田代健太郎2年

田代健太郎2年

▽800mフリーリレー

2位 須藤 颯1年

荒木 元太3年

田代健太郎2年

2位 原田 拓武3年
3位 米田 瑠1年
5位 田代健太郎2年

▽200m自由形

4位 浦川 鈴3年

5位 河津 樹奈2年

▽400m自由形

3位 河津 樹奈2年

▽50m平泳ぎ

6位 瀬津美咲季1年

▽100m平泳ぎ

2位 清崎 莉織1年

5位 瀬津美咲季1年

▽200m平泳ぎ

2位 清崎 莉織1年

5位 瀬津美咲季1年

▽100mバタフライ

1位 長森 花楓1年

▽200mバタフライ

2位 長森 花楓1年

全九州高校総体

(7月14日～16日)

〈アクアドームくまもと〉

(男子)

▽200m自由形

6位 須藤 颯1年

▽400m自由形

4位 須藤 颯1年

▽200mバタフライ

5位 米田 瑠1年

▽400mバタフライ

8位 原田 拓武3年

▽800mフリーリレー

4位 荒木 元太3年

須藤 颯1年

田代健太郎2年

▽800mフリーリレー

山下 慶悟2年

6位 須藤 颯1年

荒木 元太3年

田代健太郎2年

河津 賢宗1年

▽800m自由形

6位 河津 樹奈2年

▽200m平泳ぎ

2位 瀧口奈葉香2年

▽400mメドレーリレー

2位 清崎 莉織1年

長森 花楓1年

浦川 鈴3年

熊本県選手権兼国体予選会

(6月23日～24日)

〈アクアドームくまもと〉

(男子)

▽200m自由形

3位 須藤 颯1年

▽400m自由形

4位 須藤 颯1年

▽100m平泳ぎ

5位 長森 陸1年

▽200m平泳ぎ

6位 宮脇 大暉3年

▽800mフリーリレー

4位 浦川 鈴3年

古川 史恵2年

長森 花楓1年

樹奈2年

熊本県高校総体 (6月4日)

運動公園・パークドーム

▽男子ダブルス

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

空手道部

熊本県高校総体

(6月2日～3日)

▽女子シングルス

4位 山本かすみ3年

6位 屋形日葉乃3年

▽女子ダブルス

4位 屋形日葉乃3年

山本かすみ3年

平成30年度熊本県高等学校夏季テニス大会

(8月8日～10日)

〈運動公園A・Bコート〉

▽男子ダブルス

2位 渡邊 颯2年

宮崎 翔馬2年

▽男子シングルス

4位 宮崎 翔馬2年

女子ダブルス

3位 山口 香乃1年

中村 祐美1年

熊本県高校総体

(5月31日～6月4日)

〈熊本県立体育館〉

(男子)

▽ピン級

3位 平川 大智3年

▽ライトフライ級

1位 原田 真都3年

▽フライ級

2位 村上 雄大3年

▽ライトウェルター級

1位 野田 貴紀3年

▽ウェルター級

3位 北窓 正学3年

(女子)

▽フライ級

1位 佐藤 葵3年

全九州高校総体

(6月15日～17日)

〈熊本県立体育館〉

(男子Aパート)

▽ライトフライ級

1位 原田 真都3年

(男子Bパート)

▽フライ級

1位 村上 雄大3年

(女子Aパート)

▽フライ級

1位 佐藤 葵3年

日韓スポーツ交流試合

(7月1日)

〈韓国・忠清南道〉

(代表)

▽ライトフライ級

原田 真都3年

▽フライ級

村上 雄大3年

▽ライトウェルター級

野田 貴紀3年

▽ウェルター級

北窓 正学3年

九州国体ブロック

(8月17日～19日)

〈鹿児島・阿久根市体育館〉

▽ライトフライ級

1位 原田 真都3年

全九州高校総体

(7月6日～8日)

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

2位 宮崎 翔馬2年

男子陸上競技部

熊本県高校総体

(6月1日～4日)

〈熊本県総合運動公園〉

▽200m

5位 山本 陽太2年

▽400m

1位 小林 諒3年

3位 清住 遼斗3年

▽1500m

1位 鶴川 正也1年

5位 溝上 稜斗1年

▽5000m

1位 井川 龍人3年

3位 入田 優希2年

5位 佐藤 映斗3年

▽1100mH

1位 村本 壮太3年

2位 米田 太陽2年

▽4000mH

1位 米田 太陽2年

2位 村本 壮太3年

▽1000mH

1位 米田 太陽2年

2位 村本 壮太3年

▽4000mR

2位 佐竹 竜昌3年

小林 諒3年

米田 太陽2年

▽4000mR

1位 山本 陽太2年

2位 清住 遼斗3年

▽4x400mR

1位 清住 遼斗3年

米田 太陽2年

山本 陽太2年

小林 諒3年

▽走幅跳

3位 深井 敦史2年

▽三段跳

1位 深井 敦史2年

▽トラック 1位

▽総合 1位

秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技選手権大会

九州地区予選大会

(6月14日～18日)

〈沖縄県総合運動公園〉

▽400m

2位 小林 諒3年

▽1500m

2位 鶴川 正也1年

▽5000m

1位 井川 龍人3年

3位 入田 優希2年

4位 佐藤 映斗3年

▽1100mH

4位 米田 太陽2年

▽4000mH

3位 米田 太陽2年

▽3000mSC

2位 端羽 星3年

4位 中山 凜斗2年

5位 今村 真路3年

▽4x100mR

3位 佐竹 竜昌3年

▽4x100mR

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

3位 佐竹 竜昌3年

米田 太陽2年
小林 諒3年
山本 陽太2年

▽4x400mR

1位 清住 遼斗3